

人を豊かに、地球を美しく

松田産業株式会社 会社説明会



松田産業株式会社 (証券コード：7456)

2026年3月5日





本資料は弊社についてご理解を深めていただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料の掲載内容は、現在までにプレスリリース等を行った各種資料に基づいて作成しておりますが、掲載内容の正確性、完全性、相当性、その他一切について何ら責任を負うものではありません。

また、掲載されている文章・グラフなどの欠落・誤謬などにつきましては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、目標と異なる可能性があることにご留意ください。

<お問い合わせ先>

松田産業株式会社
CSR・IR部

お問い合わせフォーム : <https://www.matsuda-sangyo.co.jp/ja/contact/contact4.html>

1.	会社概要	P. 4
2.	事業概要	P. 8
3.	業績推移	P. 18
4.	中期目標・投資計画	P. 22
5.	財務戦略・株主還元	P. 27

1. 会社概要

企業理念

限りある地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献する

貴金属関連事業

貴金属などの資源リサイクルで
循環型社会の構築に貢献



食品関連事業

安全安心な食材の安定提供で
人の豊かさに貢献



持続的成長
サイクル

事業機会
拡大

社会課題
解決に貢献

貢献できるSDGs



松田産業のはじまり (philosophy)

もったいない精神



チャレンジ精神

1935

写真感光材料



もったいない精神
チャレンジ精神



銀地金



資源の有効活用

貴金属関連事業の創業

1948

マヨネーズ工場の卵白



もったいない精神
チャレンジ精神



練り製品の「つなぎ」



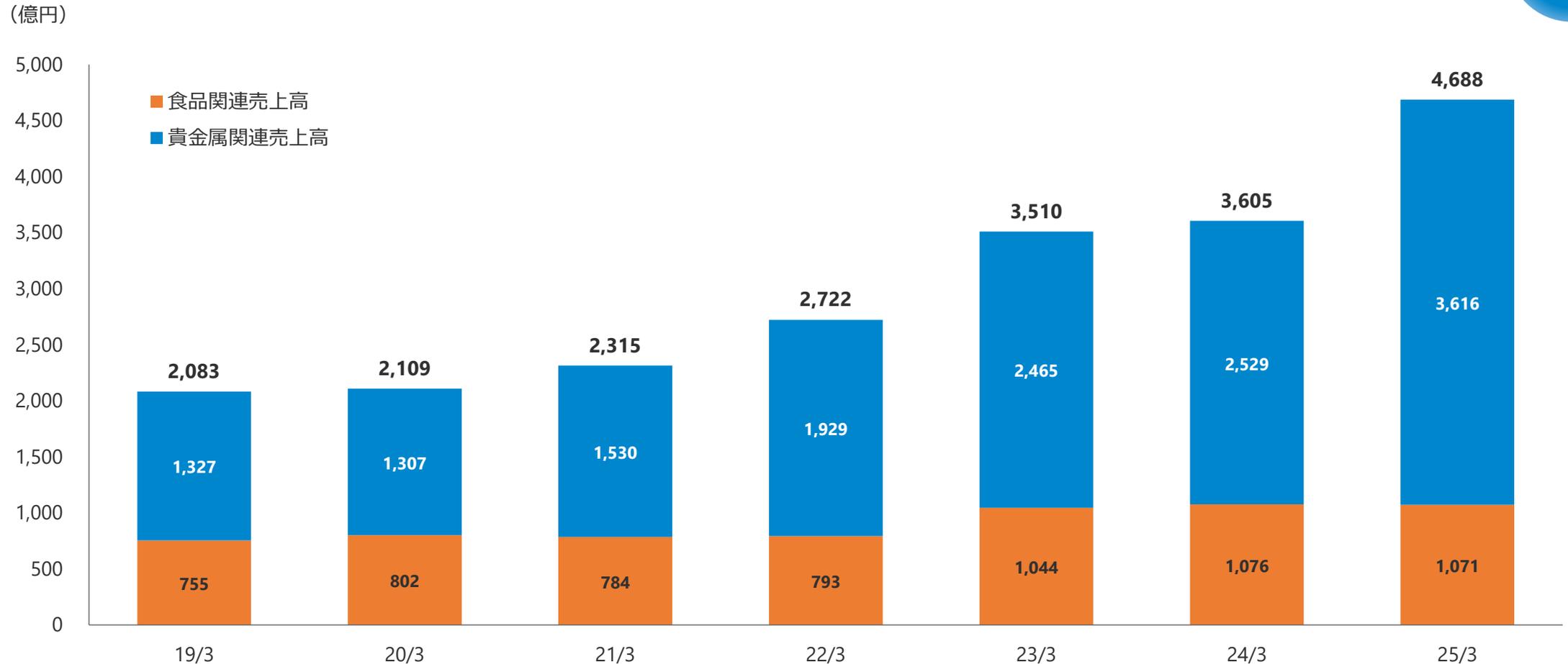
資源の有効活用

食品関連事業の創業

社会の変化とともに、持続可能な成長軌道を実現

25年3月期では過去最高の売上高を更新

売上高
4,000億円
突破

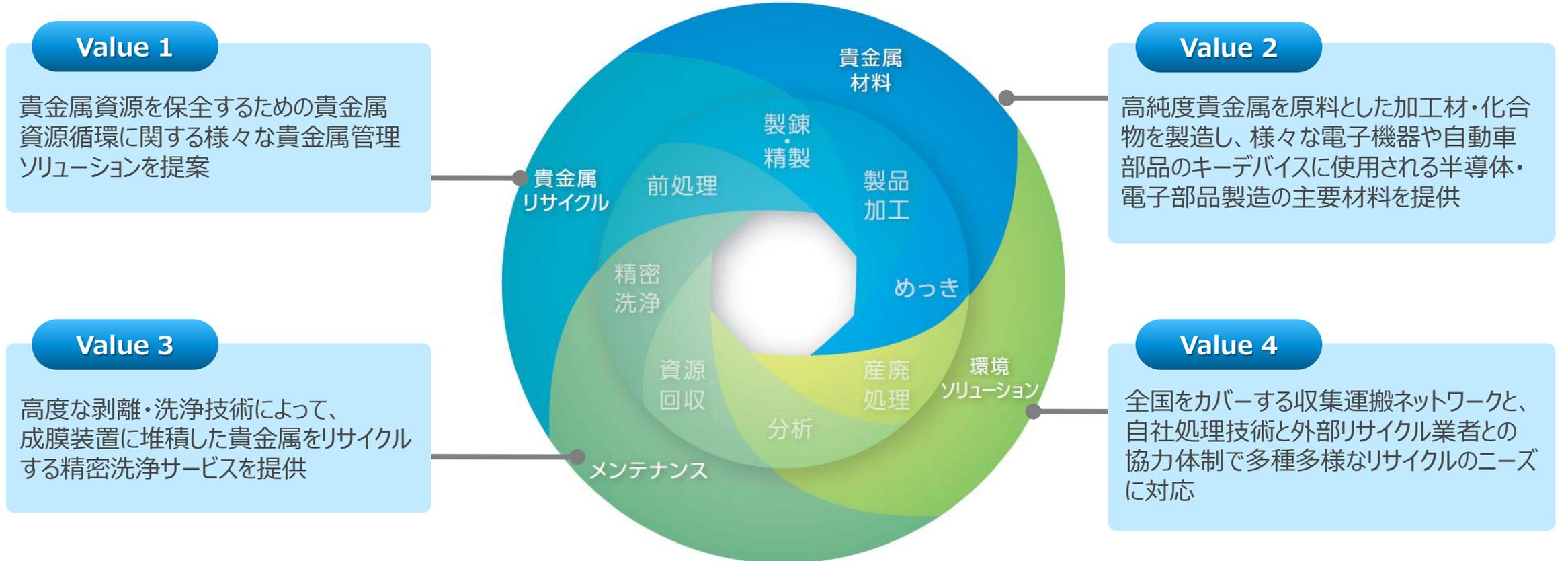


※表示単位未満は切り捨て

2. 事業概要

資源リサイクルの総合力で「高い環境価値」を提供

貴金属の製錬・精製、製品調達から環境管理までループビジネスで資源循環をトータルサポート



貴金属関連事業の概要と強み

循環経済を支えるため、「リサイクルテクノロジー」と「グリーンテクノロジー」でライフサイクルをマネジメントしています。



顧客ニーズ

サーキュラエコノミー

リサイクル資源の活用

高品質・高効率・
安全供給

環境保全
(サステナビリティ)

資源リサイクルの
総合力と環境価値

環境負荷低減/
製品・サービスの提供

高機能電子材料/
開発・販売の強化

リサイクル技術の応用/
物流ネットワーク機能/
無害化処理技術/スキーム作り

技術開発/生産インフラ拡充/
品質管理体制の強化

シェア拡大
新規市場開拓
(国内・海外)

電子デバイス業界

化学/自動車業界

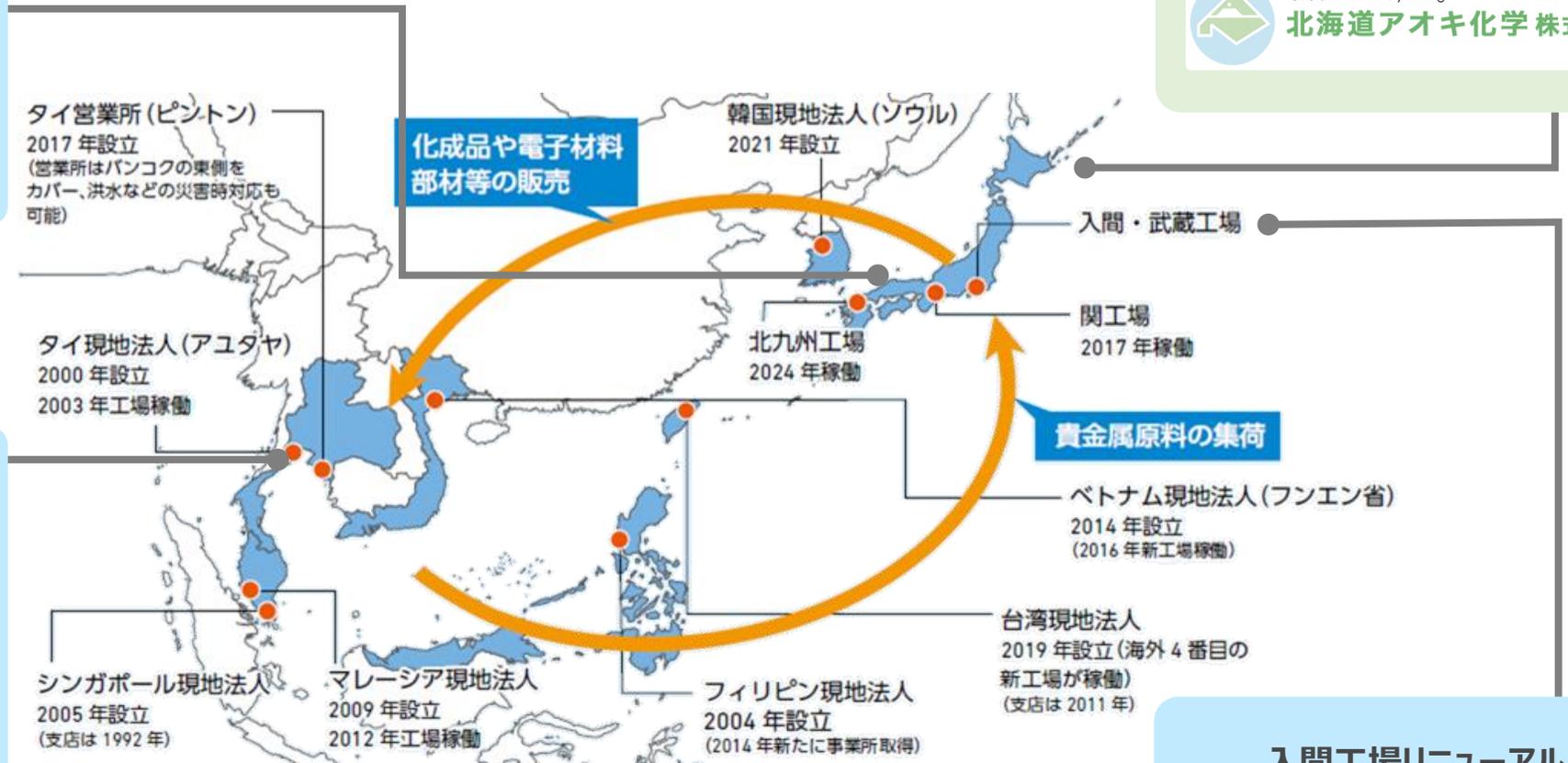
二次電池

E-スクラップ市場

資源循環（活用）を
創造する
リーディングカンパニー

機会を捉えた積極的な投資

8カ国/地域 15拠点



北海道子会社の活用



株式会社山陽レック
SANYO REC
株式会社山陽レック

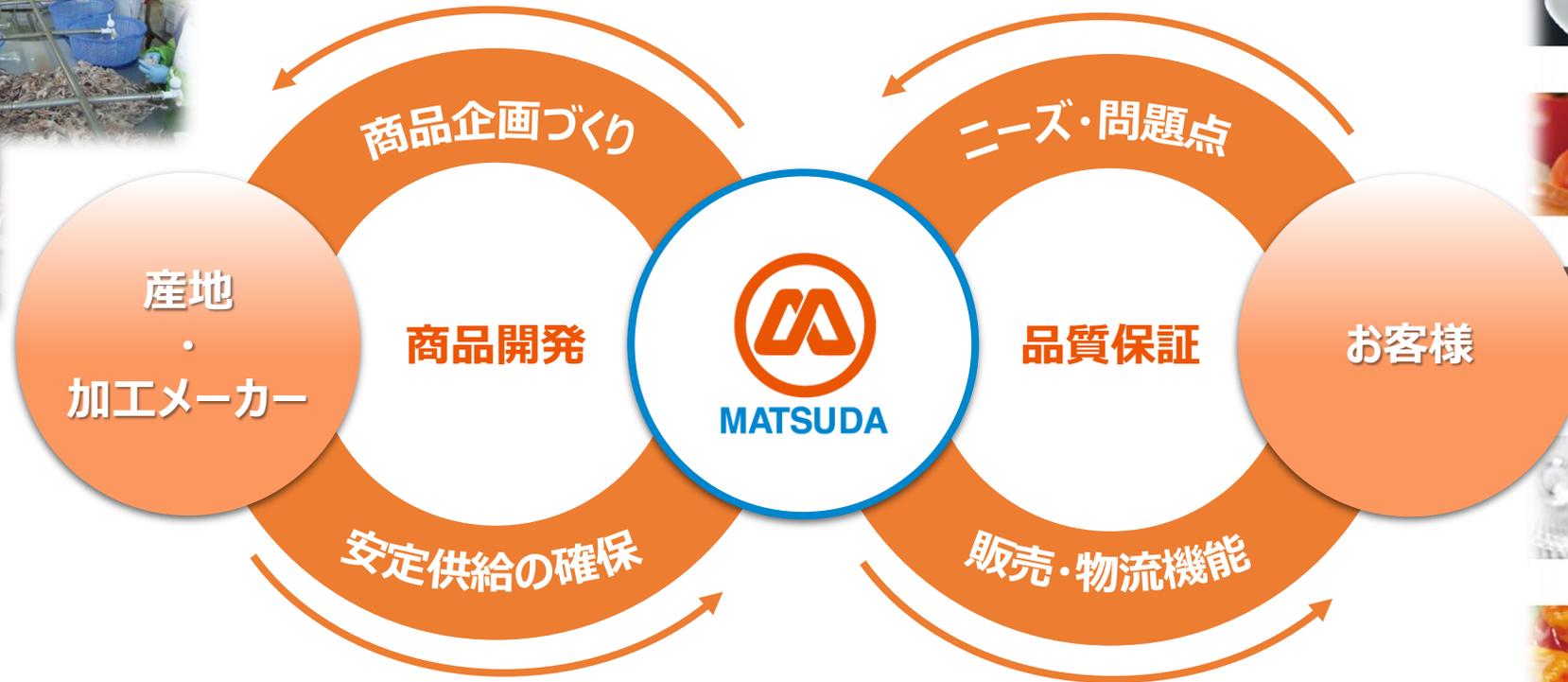
株式会社フラップリソース
株式会社 フラップリソース

タイ工場リニューアル

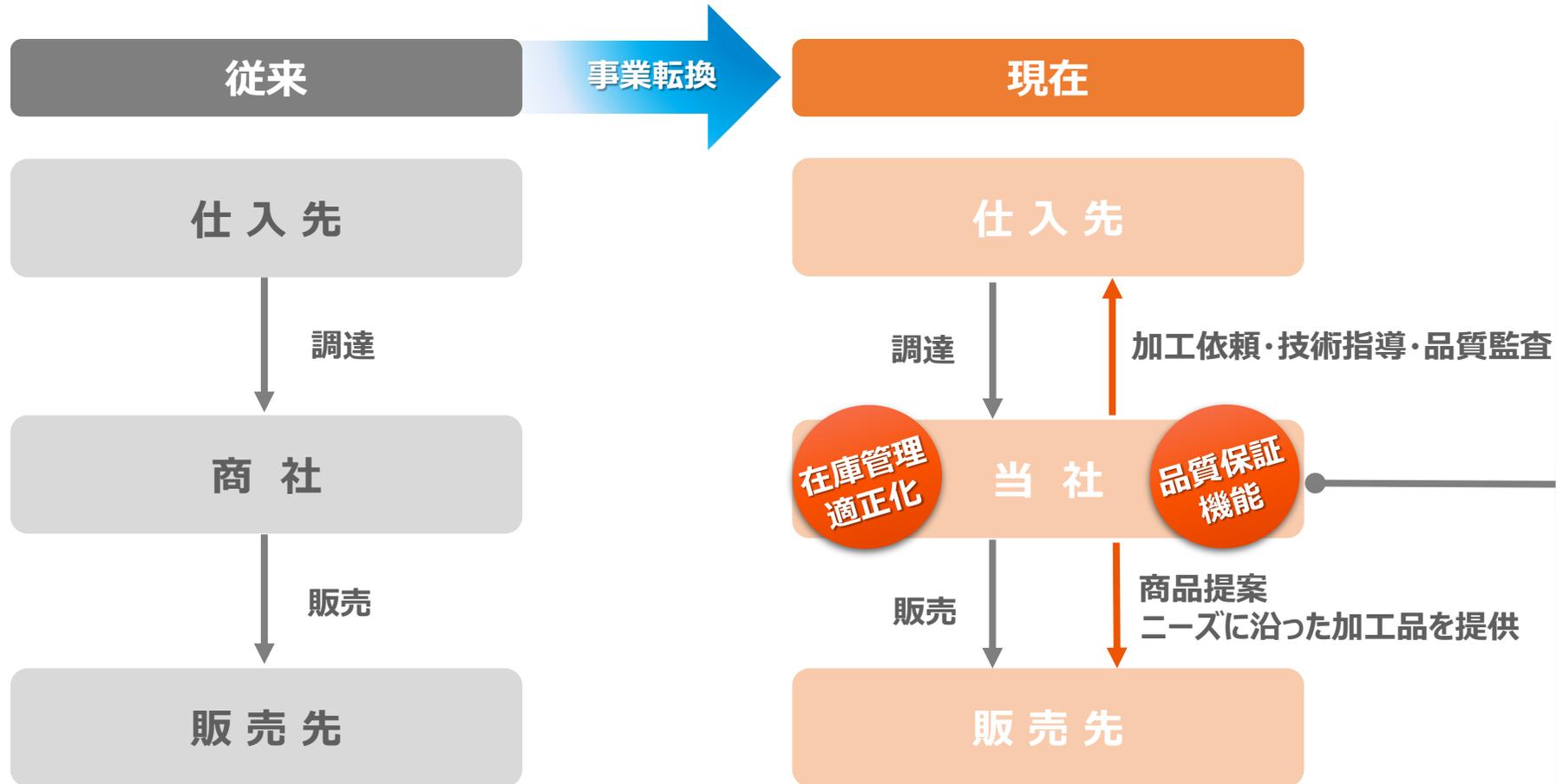
入間工場リニューアル

「安全安心な食材の安定供給」と「食資源の有効活用」の実現

お客様の商品開発や調達コストの低減、生産オペレーションの改善に寄与する提案にも取り組んでいます。



独自の品質管理体制と在庫管理の適正化



現地指導



品質保証室のサンプリング検査

参考. 主要取扱商材

水産品



すりみ



エビ



魚



貝



イカ



タコ

農産品



野菜・果物



大豆たんぱく



食品素材

畜産品



牛肉・豚肉・鶏肉



鶏卵

グローバルなネットワークにより変化する業界のニーズに対応した食材を調達

ヨーロッパ地域

ポーク・ビーフ
乾燥卵・冷凍野菜

アジア地域

魚肉すりみ・エビ・イカ・タコ・アサリ・
カニ・チキン・冷凍野菜・乾燥卵・
乾燥ポテト

北米地域

魚肉すりみ・冷凍野菜・
乾燥ポテト・乾燥卵・
ポーク・ビーフ

南米地域

チキン・ポーク・イカ

オセアニア地域

ビーフ・冷凍野菜

食品関連事業

6拠点



全国各地に広がる拠点ネットワーク

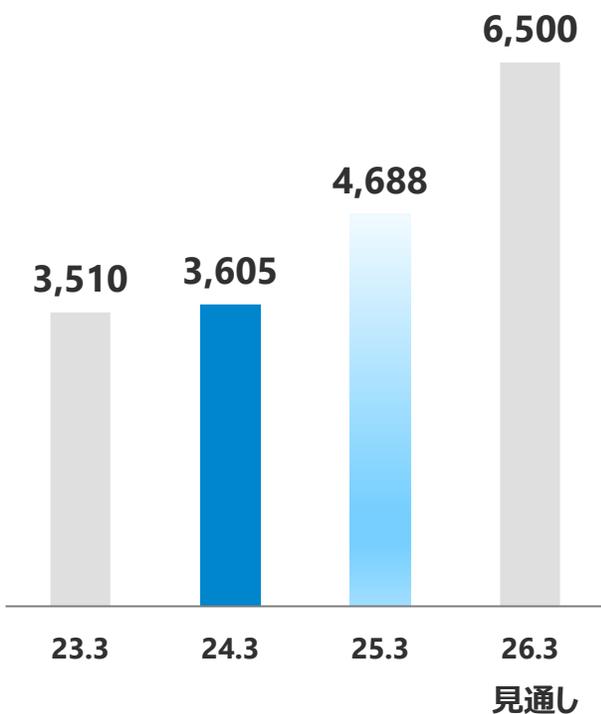
国内の営業拠点でお客様に密着した提案型の営業活動を行い、お客様のニーズにきめ細やかに対応



3. 業績推移

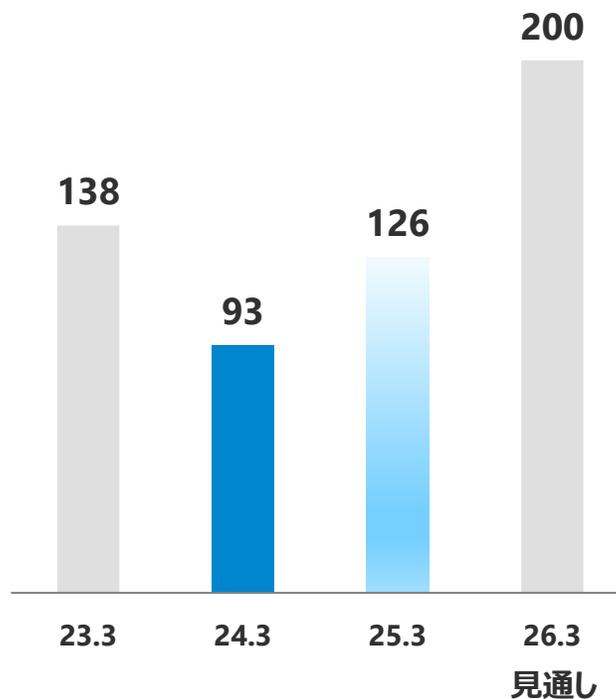
売上高

(億円)



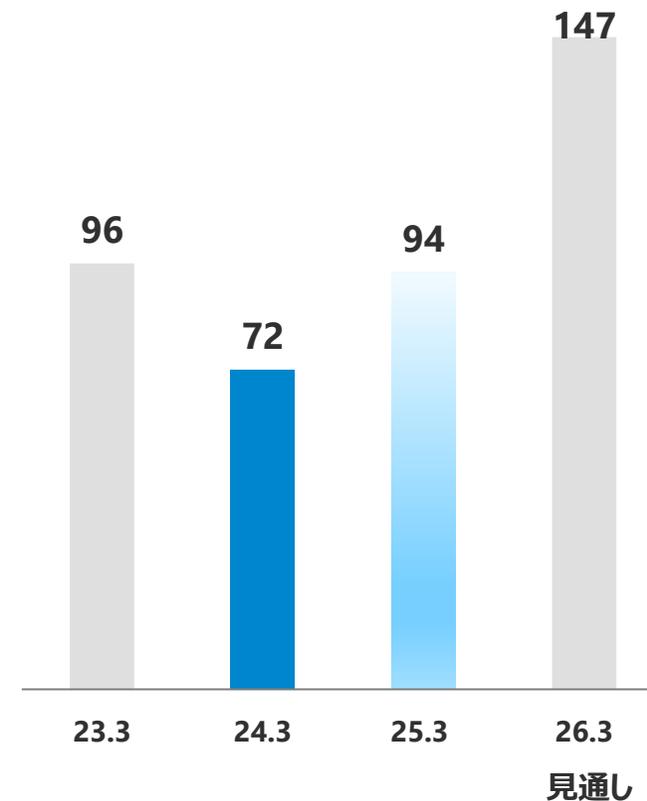
営業利益

(億円)



当期純利益

(億円)



連結貸借対照表

【資産の部】		(億円)		
	2023年3月末	2024年3月末	2025年3月末	
流動資産	893	1,023	1,161	
固定資産	398	466	527	
資産合計	1,292	1,489	1,689	
【負債の部】				
	2023年3月末	2024年3月末	2025年3月末	
流動負債	278	445	486	
固定負債	166	130	201	
うち有利子負債	192	294	333	
負債合計	445	575	687	
【純資産の部】				
	2023年3月末	2024年3月末	2025年3月末	
純資産合計	846	913	1,001	
負債純資産合計	1,292	1,489	1,689	
自己資本比率	65.4%	61.2%	59.1%	

(億円)

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
営業キャッシュ・フロー	106	18	25
投資キャッシュ・フロー	▲121	▲79	▲62
フリー・キャッシュ・フロー	▲15	▲61	▲37
財務キャッシュ・フロー	13	80	2
現金及び現金同等物の増減	3	26	▲30
現金及び現金同等物の期末残高	117	144	114

4. 中期目標と投資計画

経営目標の達成に向けては、貴金属セグメントの量的拡大、利益率・資本効率の改善が課題

(億円)

	FY19-21 平均	FY22 実績	FY23 実績	FY24 実績	FY25 予想 (2/13公表)	FY25 (中期目標)
売上高	2,382	3,510	3,605	4,688	6,500	3,000
営業利益	90	138	93	126	200	130
営業利益率	3.7%	3.9%	2.6%	2.7%	3.1%	4.3%
ROE	10.0%	12.2%	8.3%	9.9%	-	9.0%
ROA (総資産経常利益率)	9.4%	11.3%	7.6%	8.5%	-	10.0%

基本方針

貴金属関連事業 & 食品関連事業の両事業を成長の牽引役とし…

- 積極投資の継続で収益基盤強化と新規収益源の創出
- 持続的成長を支え、加速させる経営基盤の強化
- サステナビリティ経営の推進で企業価値向上

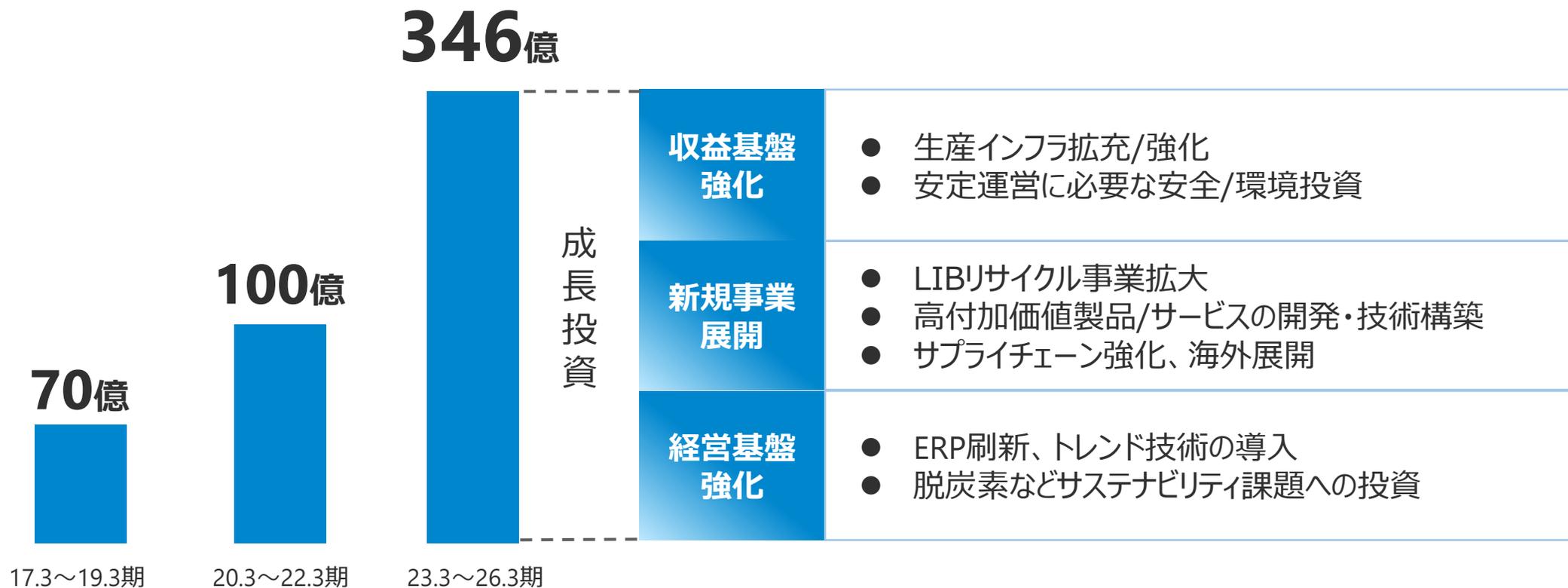
成長戦略（ロードマップ）

		2024年度～2025年度（予定）
貴金属関連事業 資源循環(活用)を創造するリーディングカンパニー	高付加価値商品／サービスの開発・技術構築	ECO PGC
	新規事業展開に向けた製錬環境処理設備/拠点の拡充	PTPマテリアルリサイクル
	事業規模・領域拡大に向けた生産インフラの拡充	二次電池リサイクル事業
		北九州工場第1期稼働 入間地区リニューアル
食品関連事業 お客様の商品開発のベストパートナー	グローバル展開と調達ネットワークの拡充	PT Matsuda Sangyo Trading Indonesia（インドネシア拠点）の稼働
	顧客密着営業と新規事業/商圏の創出	サプライチェーン機能構築・強化
経営基盤強化	IT活用による管理機能強化と生産性向上	ERP刷新 DX推進（デジタルの民主化）
	人的資本経営の推進	経営人財の創出 多様な人財が活躍できる職場づくり
	資本効率向上に向けた取組み	事業ポートフォリオマネジメントの強化
	サステナビリティ経営の推進	脱炭素に向けた取組み 労働環境の整備（RBA）

投資計画 (2022-2025年度)

総額 **346億**
(4力年累計)

- 収益基盤強化・新規事業展開・経営基盤強化の各領域に積極投資し、更なる成長実現へ
- 成長投資は、財務健全性の確保とび株主還元のバランスを考慮し、経営資源を適確に配分

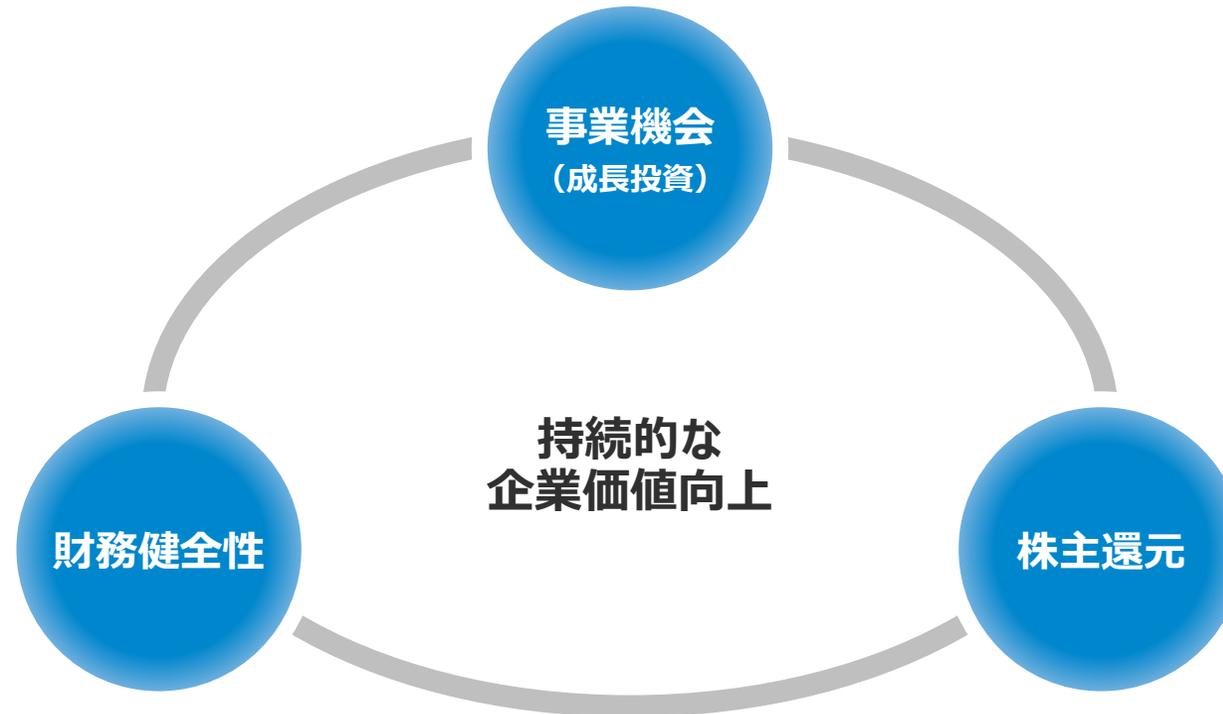


5. 財務戦略・株主還元

成長性を捉えた事業機会への最適資源配分、財務健全性の確保、株主還元のバランスを考慮し、持続的に企業価値を向上させる

成長投資と営業C/Fの確保

- 収益基盤強化、新規事業展開、経営基盤強化に向け成長投資を積極的に実施
- 財務健全性及び株主還元のバランスを考慮し、経営資源を適確に配分



安定かつ持続的な配当

- 株主資本配当率(DOE)1.5%以上を目安にした還元

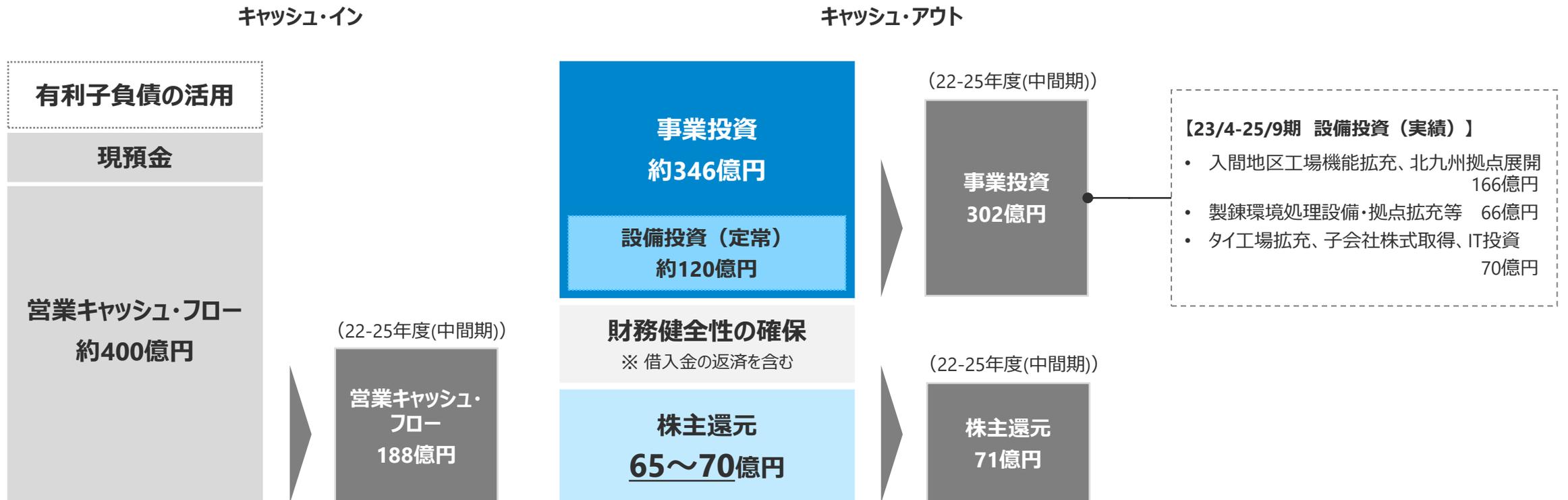
◎ PBR改善に向けた重要課題と施策の進捗

重要課題	施策	進捗
資本効率の向上	<p>ROIC経営の推進</p> <p>ROICを指標とした経営管理を今後導入し、各事業の資本効率向上を目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資本効率向上に向けた議論を継続 食品事業ではPSI管理強化による在庫回転率の改善を実行中
	<p>資本政策の的確な実行</p> <p>財務健全性の確保を考慮しつつ、将来の資本収益性向上に繋がる事業投資と、株主還元の充実にに向けた政策を実行する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2022-2025年度（中間期） 【営業 CF】 188 / 400億円 【事業投資】 302 / 346億円 【株主還元】 71 / 65-70億円
成長期待の醸成	<p>IR活動の強化</p> <p>投資家・株主に向けて、持続的成長のシナリオや競争優位性、サステナビリティ課題への取り組みなどを分かりやすく伝え、対話し、意見を経営に活かす</p>	<ul style="list-style-type: none"> 決算補足説明資料と英文開示を拡充 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた現状と課題について取締役会で議論 新たな対話機会として、投資家協同対話の実施、スモールミーティングを計画

資本政策 (基本方針)

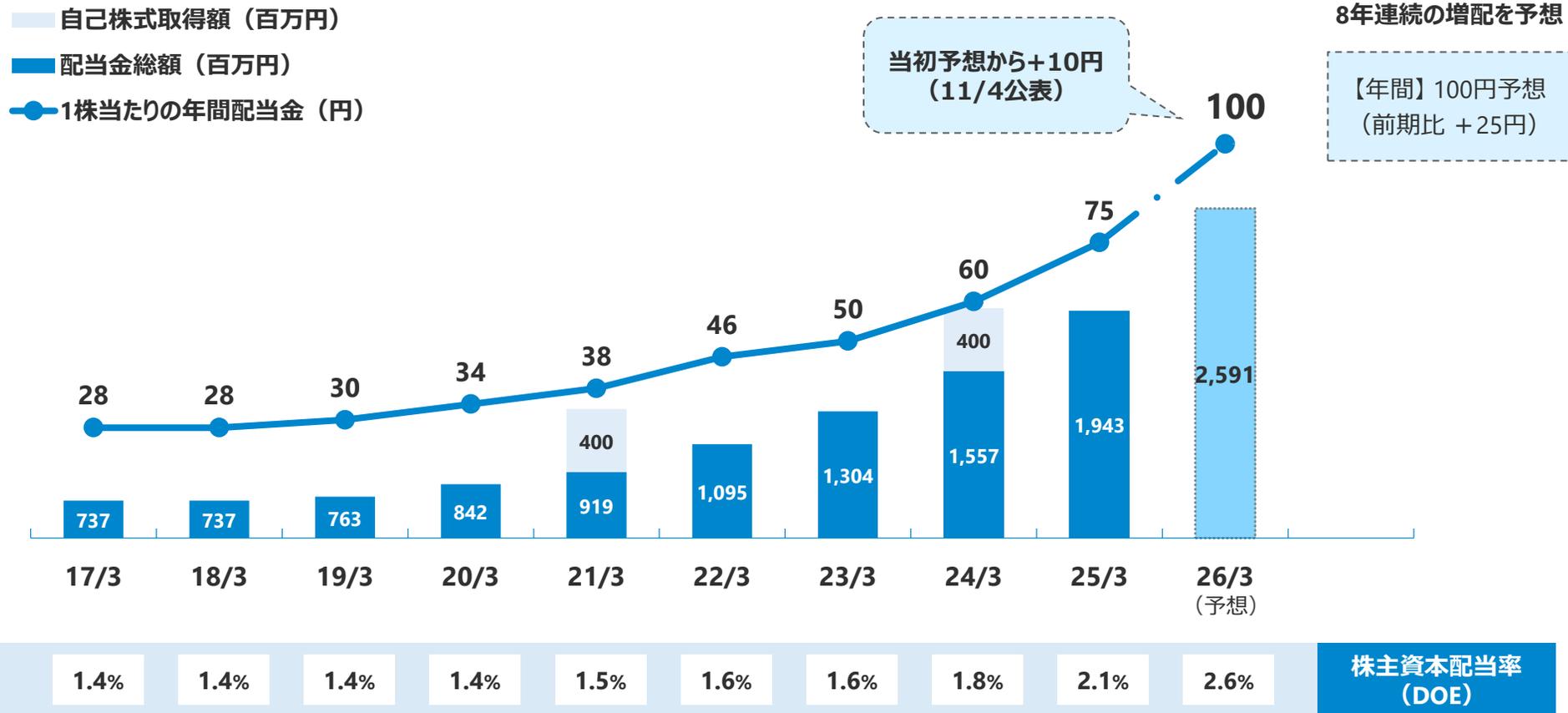
成長性を捉えた事業機会への最適資源配分、財務健全性の確保、株主還元のバランスを考慮し、持続的に企業価値を向上させる

<中期経営計画（2022～2025年度累計）に基づく、キャッシュ・アロケーションの想定>



株主還元

- 成長投資の為の内部留保とのバランスを考慮しつつ、安定且つ持続的な配当を実施
- 株主資本配当率1.5%以上を目安とした還元
- 市場環境を勘案した機動的な自己株式取得



QUOカード

- 毎年3月31日現在、当社株式を1単位(100株)以上かつ1年以上継続して保有する国内在住の株主様に、一律2,000円相当の当社オリジナル「QUOカード」を贈呈。
(1年以上継続保有の株主様とは、同じ株主番号で3月31日および9月30日現在の株主名簿に3回以上連続で記載または記録された株主様をいいます。)
- 毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬に発送予定。

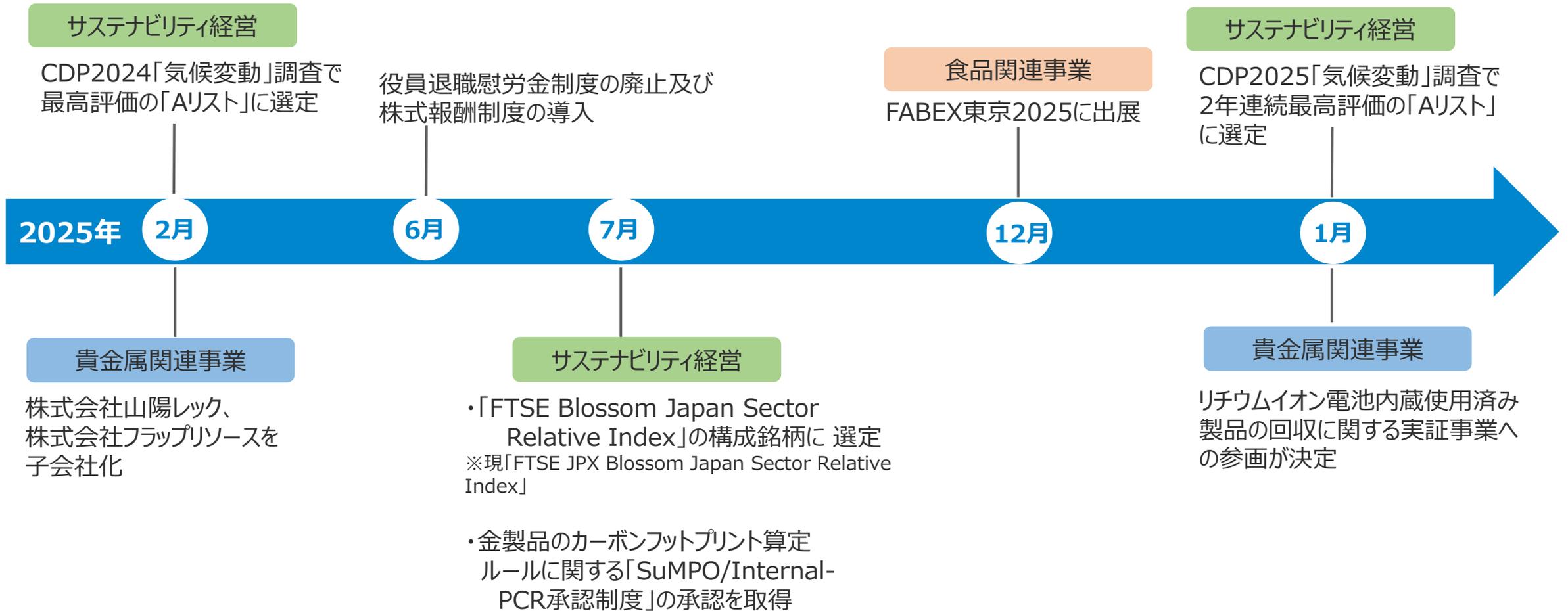


カレンダー

- 3月末の株主様を対象にご希望をお伺いし、ご希望された株主様に「カレンダー」を贈呈。
- 毎年1回、12月初旬頃に発送予定。



直近1年のトピックス





松田産業株式会社

MATSUDA SANGYO CO., LTD.